

研修医・指導医リレーエッセー⑬



研修もプライベートも充実しています

岡山済生会総合病院 研修医 川上 弘夢



岡山県医師会の皆様、初めまして。岡山済生会総合病院2年目研修医の川上弘夢と申します。このたび岡山県医師会報のリレーエッセー執筆の依頼をいただきまして、何を述べようかとこの文章を入力しながら考えております。当院の臨床研修について細かく記載しようとも考えたのですが、それは指導医の那須先生にお任せするとして、せっかくですので私からは研修生活のもっとカジュアルな部分についてお話をできればと思います。

さて、まずは自己紹介からですが、私は小中高と岡山市内の学校に通い、大学も岡山大学で未だ地元を離れたことがありません。在学中の部活動は、小中高大と野球をしていました。研修医となってからは、もう野球をプレーする機会はなくなりましたが、プロ野球・メジャーリーグの観戦は一番の趣味として続いています。

岡山済生会の研修医同期は、私を含めて12人おまして、岡山大学から3人、川崎医科大学から3人、香川大学から2人、そのほか山梨大学、長崎大学、宮崎大学、自治医科大学から1人ずつと様々な方面から集まってきています。現在の1年目の先生も9大学から11人と多様で、いろいろな大学のいろいろなエピソードを聞けるのはとても興味深いです。ばらばらの場所から人が集まってきていますが、むしろ研修医同士で打ち解けるのは早く、今も互いに切磋琢磨し、支えあって研修に励んでおります。

研修の面以外で岡山済生会ならではの誇れるものは、何があるかと考えましたところ、最初に思い浮かんだのは、“立地”でしょうか。岡山県内の病院で随一の駅近・街中でお買い物や飲み会の場所には困りません。4・5月は、1年目の先生の歓迎会を、その他にもローテーションの打ち上げでよく飲み会を開催しました。週末もお昼からカフェに行ったり、トレーニングジムに行ったりと、我ながら充実したプライベートだと思っております。また、立地とは関係ありませんが、研修医同期とは昨年プチ旅行に行き、今年も8月に牛窓でBBQをしました。同期と過ごすこういった休暇も良い思い出になり、日々の研修の励みになっています。

最後に研修の感想についてですが、研修医になってはじめて思ったことは、1年目と2年目でこんなにも違うのだということです。研修医になったからには、4月から救急日当直に入るわけですが、最初はわからないことが多く、ほとんど戦力になれなかったと思います。当時2年目の先生はてきばきと診療しており、1年間でこれほどまでになれるのかと憧憬の念を抱くとともに強い不安も感じました。しかし、その2年目の先生方や上級医の先生方のご指導もあり、1年をかけて少しずつではありますが、知識・技能ともに成長を実感できました。岡山済生会の先生方は皆様、研修医思いで教育熱心で感謝が尽きません。いつもご指導いただきありがとうございます。

私は来年度からは、整形外科の専攻医として進んでいくつもりです。また1からのスタートになりますが、これから約半年も含めて2年間の研修医生活で身に付けた知識・技能・向上心をもって良いスタートダッシュが切れればと思います。まだまだ未熟者ではありますが、チャレンジ精神を忘れず励んでまいりますので、これからも何卒よろしく願いいたします。